

みんなで実践！ 職場の防火管理

～一人一人の
意識を高める～

監修：東京理科大学 総合研究機構 教授 菅原進一



19分 / DVD 60,000円 (本体価格) + 税

企画・製作・発売元 株式会社 教配



株式会社 教配

URL: <http://www.kyohai.co.jp>

〒190-0012

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア

TEL 042-518-9774 (代) FAX 042-518-9785

みんなで実践! 職場の防火管理

～一人一人の意識を高める～

——防火管理者は消防計画を作成し、これに基づいて、
消火、通報および避難の訓練を定期的実施しなければならない——

この作品では防火管理者となった主人公が一人では限界があることに気づき、みんなの協力を促し、消防訓練を実施するまでの様子をドラマ形式で描いていきます。従業員一人一人の防火意識を高め、日頃から消防訓練を行うことの大切さを訴えます。



日頃から点検・管理を徹底する

- タコ足配線はしない
- 給湯室の安全点検
- タバコの吸い殻の管理
- 階段や廊下、防火扉のまわりに物を置かない
- 建物の周囲に放火されやすい物を放置しない



消防訓練を定期的に行う

火災の発生を周りに知らせる

初期消火

• 消火器の使い方

1. 近くの消火器を持って、出火場所に向かう
2. 火の位置を確認し、安全ピンを抜く
3. ノズルを引っ張り出し、火元に向ける
4. レバーを強く握り、放射する

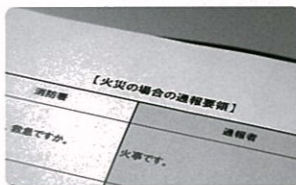
• 1号消火栓の使い方 (2人以上で操作)

1. 起動ボタンを押す
2. 消火栓の扉を開く
3. ホースをのぼす
4. 現場について火元に向けて狙いを定め、「放水始め」の合図でもう1人が元栓のバルブを開放する
5. 放水する など



通報・連絡

- 住所や火元の場所、状況などを冷静に伝える
- あらかじめ通報する項目をメモにひかえ、電話のそばに置いておく



避難誘導

- 大きな声で避難の方向を明確に指示する
- エレベーターは使わない
- 煙を吸わないように、ハンカチ等で鼻や口をふさいで、姿勢を低くして避難する



協力: 東京消防庁 / 東京消防庁 消防技術試験講習場

企画・製作・発売元 株式会社 教配

2015年作品

●お申し込み・お問い合わせ